

2020年11月12日

**大塚製薬工場、世界最高水準の品質と高い生産能力を持つ
輸液製剤の新工場、MP-VIIを竣工**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)は、自社の松茂工場敷地内(徳島県板野郡松茂町)に、医療用医薬品である輸液製剤の新工場としてMP-VIIを建設し、本日、竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

MP-VIIは松茂工場敷地内の新工場として、輸液のリーディングカンパニーである当社の技術を結集し、新容器、新製造技術導入による製造ラインの一新を図りました。2018年2月の起工から約2年間の建設期間を経て、本年7月より、ダブルバッグ輸液製剤の製造を開始しています。世界基準であるPIC/S^{※1} GMP^{※2}に準拠した品質と高い生産能力を備えており、今後、当社の主力工場の一つとして役割を果たしていくものと期待しております。



新工場「MP-VII」の外観

当社の主力製品である輸液は、生命を維持するための基礎的かつ重要な医薬品として、さまざまな診療科で使用されており、私たちには、安全で高品質な製品を安定的に供給することが求められています。当社は、これからも人々の健康と栄養管理に貢献する製品を安定してお届けするために、新製品の開発、製品の改良、生産設備の増強等を推進し、臨床栄養領域における患者さんや医療従事者のベストパートナーを目指してまいります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 PIC/S (Pharmaceutical Inspection Convention and Pharmaceutical Inspection Co-operation Scheme): 医薬品査察協定および医薬品査察共同スキーム、医薬品分野での調和されたGMP基準および査察当局の品質システムの国際的な開発・実施・保守を目的とした査察当局間の非公式な協力の枠組み。1970年に結成され、2020年3月現在、55の当局が加盟し、日本も2014年に加盟。

※2 GMP (Good Manufacturing Practice): 医薬品等の製造管理および品質管理に関する基準。

工場概要

名 称	松茂工場 MP-VII
所 在 地	徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-1
建 物 概 要	鉄骨造 地上5階 建築面積3,763㎡ 延床面積9,909.94㎡
生 産 品 目	医療用医薬品(輸液製剤)
製 造 開 始	2020年7月

会社概要

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)
資 本 金 : 8,000万円
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,247名 (2019年12月31日現在)
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造・販売
および輸出入
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>

このリリースに関するお問い合わせは、下記にお願いします。

株式会社大塚製薬工場 総務部 総務課 広報担当
〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
TEL:088-684-2201(直) FAX:088-685-7667
MAIL:opf-pr@otsuka.jp
URL: <https://www.otsukakj.jp/>